

幼児の実態	<p>子どもたちは、自分の好きな遊びを見つけ、進めている。10月にあった運動会でチームに分かれて演技や応援をしたことなどをきっかけに、今までよりもかかわる友達が増えてきた。友達と一緒に遊ぶことに楽しさを感じており、登園してすぐに、友達と誘い合って遊び始める姿が見られる。天気の良い日には、多くの子どもたちが長縄や滑り台、鬼ごっこなどの遊びをしながら園庭で思い切り体を動かして遊んでいることもある。この季節、どんぐりや落ち葉などが落ちてきており、拾って友達や教師に見せたり、製作に使ったりしている。</p> <p>一人一人、やりたい遊びや遊びたい友達への思いがあるものの、友達の思いと合わず、自分の思いを通そうと主張する場面も見られる。教師に思いを伝えて気持ちを調整したり、教師と一緒に友達に思いを伝たり、教師がそれぞれの思いを伝えたりしながら、一緒に楽しく遊びを進める方法を考えている。</p>	遊びの価値とねらい	<p>子どもたちは自分の好きな遊びを友達と一緒にしたいという思いを強く抱いているものの、自分の思いを調整することに難しさを感じている。</p> <p>たくさんの人数で遊びを進める場合、全員でイメージやきまりを理解し共有しなければならない。自分の思いを伝えながら、全員が共通理解して遊びを進めることで、それぞれが満足感を得られ、またやりたいと、継続して遊ぶことへとつながっていくと考える。</p> <p>何かをつくり出したり、役になりきったりする遊びでは、自分の思いを存分に表して遊ぶ姿を大切にしたい。そうして表現したことを友達に認めてもらうことで、友達のよさにも気付く余裕ができ、友達と一緒に新たな遊びをつくり出したり工夫を重ねていったりすることができると思う。</p>	この期の保育について	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気の合う友達とかかわりあって遊ぶ。 ○ 秋や初冬の自然に興味をもち、自分の好きな遊びの中に取り入れる。
	【協同性の育ち】		<p>友達に自分の思いを伝えたり、友達の思いを聞いたりして、友達と遊びのイメージを共有させながら遊びを進める。</p>			
	内容		<ul style="list-style-type: none"> ○ 気の合う友達と一緒に遊んだり、自分なりに考えたり、試したりしながら好きな遊びを存分に楽しむ。 ○ 落ち葉や木の実などの自然物を使って、いろいろな遊びを楽しむ。 ○ 友達とイメージを伝え合いながら、遊ぼうとする。 ○ 野菜の世話や果物の収穫を通して、いろいろな食材に興味・関心をもつ。 			

本日の保育について	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気の合う友達と誘い合い、思いを伝え合いながら遊びを進める。 ○ 落ち葉や木の実を見つけて拾い、それぞれの違いに気付いたり、どんぐりなどを使って製作をしたりする。 	保育に当たって	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の好きなものや周りの友だちの遊び、園庭の様子などから自分のやりたい遊びを見つけ、友達を誘って一緒に遊びを進める姿を見守る。 ○ 友達と遊びたいという思いを受け止めながら、友達に伝わるように自分の思いを伝えることや、友達の思いにも耳を傾けることができるように、間に入って伝え方を示す。 ○ 一緒に仲間に加わりながら、子どもたちのしている遊びや、遊びのきまりやイメージについて全体に知らせて共有できるようにする。 ○ 子どもが見つめてきたどんぐりや落ち葉などを、周りの子どもたちにも知らせて一緒に見ながら、見つけた喜びに共感し、それらを使った遊びにも生かせるようにする。 ○ 子どもたちが自分の思い描くイメージを形にすることができるように、素材を用意しておいたり、一緒につくる手伝いをしたりする。
-----------	-----	---	---------	--

予想される子どもの遊び

	鬼ごっこをして遊ぶ 【園庭】	体を動かして遊ぶ 【園庭】	どんぐりや落ち葉で遊ぶ 【園庭・保育室】	つくって遊ぶ 【保育室】	ごっこ遊び 【保育室・プレイルーム】	ブロックや積み木を使って遊ぶ 【保育室】
今までの遊びの流れ	<p>鬼ごっこ・警察ごっこ・ハンターごっこなど様々な名前で鬼ごっこをしている。追いかける人がオレンジ帽子、逃げる人は帽子を裏返して白帽子にして遊んでいる。帽子の色については、降園活動の際に全体に知らせた。追いかける人と逃げる人を決める際に、やりたいほうをしようと話し合っていたが、ジャンケンをして決めることも見られ始めた。</p>	<p>鉄棒や登り棒を使って、登ったり回ったりしている。できる友達を見て、できるようになりたいと思い挑戦している。長縄跳びをした子どもも多く、始めは1・2回しか跳べなかった子どもたちも、10回近く跳べるようになってきている。また、滑り台を使って滑ったり登ったりして遊ぶ姿も見られる。</p>	<p>どんぐりや落ち葉を探して集めている。見つけたものは保育室の籠に集め、誰でも使うことができるようにしている。どんぐりを使ったアクセサリをつくり、売ったり身に付けたりして楽しんでいる。</p> <p>落ち葉がたくさん落ちているところでは、落ち葉を手ですくって舞い上げ、落ち葉のシャワーをすることもある。</p>	<p>空き箱やカップ、ロールペーパー芯などを使って、機械や武器など自分の好きなものをつくっている。紙を折ってカードをつくり、恐竜の絵をかいたカードをつくって見せ合う姿も見られる。</p> <p>花紙と水を混ぜて色水をつくることを長い間楽しんでいたが、最近では、更にその色水を丸めて乾かしたものを使って、ドングリに飾り付けをしている。</p>	<p>家族ごっこでパーティーをしたり、人形の世話をしたり、病院ごっこを患者と医者の役に分かれて、自分たちの経験を思い出して再現しながら遊ぶ姿が見られる。</p> <p>段ボールで列車をつくり、プレイルームの線路を走り楽しんでいる。</p> <p>自分の好きなアニメのキャラクターや恐竜になりきって、たたかったり踊ったりする姿も見られる。</p>	<p>プラスチックブロックを使って、長くつなげたり、色々な形のロボットや武器などをつくったり、つくったもの同士を合体させて新たなものをつくったりしている。</p> <p>ソフト積み木を並べて基地や家をつくり、つくった家の中にブロックを収納する場所をつくるなど、積み木とブロックを組み合わせて遊ぶ姿も見られる。</p>
本日の子どもの遊び	<ul style="list-style-type: none"> ○ 追いかける人と逃げる人に分かれて鬼ごっこをする。 ○ 追いかけたいか逃げたいか自分の気持ちを伝える。 ○ 逃げる人と追いかける人を理解して遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鉄棒や登り棒を使って、登ったり回ったりする。 ○ 長縄を回してもらいながら、回数を数えて跳んだり、友達の回数を数えたりする。 ○ 滑り台を滑ったり登ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんぐりや色々な落ち葉を拾う。 ○ 糸や輪ゴム、モールなどにどんぐりや落ち葉を付けてアクセサリなどをつくる。 ○ 落ち葉を集めて舞い上げ、ひらひら落ちる様子を見て楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素材の中から使いたいものを選び、自分のつくりたいものをつくる。 ○ 花紙を使って色水や団子をつくる。 ○ 花紙を乾かしたものを使ってどんぐりに飾り付けをする。 ○ つくったものを使ってごっこ遊びをしたり、お店を開いて売ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役割を分担してごっこ遊びを進める。 ○ 自分の憧れるキャラクターになりきって、たたかたり踊ったりする。 ○ 段ボールの列車を運転し、友達と一緒に乗って遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブロックを長くつなげて友達と比べたり、色々な形に組み合わせたりして、自分のつくりたいものをつくる。 ○ ソフト積み木を並べて自分たちの場所をつくり、そこで過ごしたり、道具を持ってきてごっこ遊びをしたりする。
教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 一緒に仲間となって加わり、友達と遊ぶ楽しさに共感する。 ◆ 誰が逃げる人で、誰が追いかける人なのかについて知らせたり、新たに加わった子どもを全体に知らせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ やってみたいと挑戦する姿を見守る。 ◆ 長縄を回し、一緒に数を数えながら跳べた喜びに共感し、次への意欲が高められるようにする。 ◆ 固定遊具等で遊ぶときには、安全に遊ぶことができるように必要に応じて声を掛けたり、支えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ どんぐりや落ち葉を探して集める姿や拾ったものをよく見て違いなどを見つける姿を見守る。 ◆ 落ち葉の音や落ちる時の動きなどを楽しむことができるように仲間となって加わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ つくりあげた喜びに共感したり、つくったものを周りの子どもたちに知らせたりする。 ◆ 友達のつくっているものを認めたり、困っているときに手伝ったりすることができるように言葉を掛ける。 ◆ つくりたいものをつくることできるように、素材を用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 列車に乗りたい友達を乗せてあげたり、交替で電車を運転したりすることができるように、自分の気持ちを伝え合えるようにする。 ◆ キャラクターや家族ごっこの役になりきって振る舞う姿を見守り、なりきる気持ちに共感する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 好きなものをつくり、つくったものを友達と見せ合う姿を見守る。 ◆ つくったもののイメージを周りの子どもにも知らせる。 ◆ 友達のつくっているものを認め、友達と合体させて新たなものをつくり出す楽しさを感じることができるような言葉を掛けたい。

